

令和8年度 第1回糸魚川市地域自立支援協議会次第

日時:令和8年 8月 28 日(金)10:00～

場所:糸魚川市役所 2階 201・202 会議室

1 開会

2 福祉事務所長あいさつ

3 議題

(1) 今年度の取組みについて 資料No.1

(2) 第7期糸魚川市ささえあいプランの進捗について 資料No.2

(3) 第8期糸魚川市ささえあいプランの策定について

・策定スケジュール 資料No.3

・計画の位置づけ及び体系 資料No.4

・アンケート集計結果について 資料No.5

(4) 意見交換・情報交換

4 その他(報告事項)

5 閉会

「糸魚川市自立支援協議会」 令和7年度の取組内容と令和8年度の取組予定

資料 No. 1 R8. 7. 19 現在

区分 (協議会、各分会)	令和7度取組内容	各区分における課題・懸案事項	令和8年度の取組予定
相談支援部会 <div>相談員連絡会議 地域検討会</div>	(1)地域検討会(年5回実施) ・同じ事業を展開している事業所ごとに参集。情報共有や共通課題の検討を実施 (2)相談員連絡会議(月2回実施) ・各相談員からの事例検討。各専門部会の報告。地域検討会で挙げられた地域課題の整理。 (3)地域生活支援拠点の見直しと振り返りとして、年2回実施。 ・現登録者と新規ケースの状況確認と登録についての検討。また今年度サービス利用者の振り返りを実施。 (4)基幹相談支援センターの研修会 ・胎内市での基幹相談支援センターの取組の実際を学んだ (5)研修会の実施(年4回) ・ 8月20日「意思決定支援」 ・10月15日「障害福祉サービスと介護保険サービスについて」 ・11月19日「ひきこもり相談支援」 ・ 1月 8日「成年後見制度のつなぎ方」	(1) 相談窓口の充実・強化 ・基幹相談支援センターの検討など (2) 途切れのない相談支援 ・関係機関のネットワーク化により、乳幼児期から高齢期まで途切れない支援 ・複数の課題のあるケースや高齢者と障害者世帯など困難ケースの増加 (3) 地域生活支援拠点の活用	(1) 地域検討会の開催。(年7回) (2) 相談員連絡会議の開催。(月2回) (3) 地域生活支援拠点の振り返りと見直し。 (4) 基幹相談支援センターの検討 (5) 事例検討と研修会の開催。
就労支援部会	(1) 糸魚川ライオンズクラブとの交流事業(2年目) ・6月6日「誰もが輝ける職場を目指して」 内容:施設外就労の事例紹介とGW 28名参加 企業側の働き手不足の補填と障害福祉への貢献、雇用に向けての準備としての活用。 福祉事業所は、工賃向上と利用者の社会体験の確保メリットがある点について理解促進を図った。 ・市内企業2社の実習見学の実施。企業見学を行い、障害者雇用の可能性について意見交換を行った。 (2) 障害者の就労に関する情報発信についての検討	(1) 企業等の障害者就労に対する理解促進・支援 ・地元企業との連携、制度の啓発 (2) 福祉的就労の支援とネットワークづく ・障害の特性に応じた就労支援の充実 ・ネットワークを活用した就労機会の確保と提供 (3) 就労に関する相談と支援 ・関係機関で連携した相談対応と特別支援学校生徒等の進路への支援	(1) 糸魚川ライオンズクラブとの交流事業(3年目) ・実習に結び付いた2社の事例発表と今後の可能性について意見交換する機会を予定。 (2) 就労事業所の福祉マップを作成。 ・部会でマップ作成し、QRコードで各々の事業所のHPやSNSとリンク。事業所別のページについては、事業所ごとに。以前作成した障害者雇用動画もリンクさせられれば視聴できる形を取りたい。 (3) ハローワーク、障害者就労生活支援センターさくらと福祉サービス事業所の連携が見える広告作成。
こども療育部会	(1) こどもの成長と共に変化する環境や福祉サービスの現状と課題について意見交換 ・就学先の開始や終了時間に関すること、家庭支援に関すること、福祉サービスや福祉就労に関することなど15項目の検討を実施。 (2) 福祉サービスの地域間格差等の課題整理 ・地域に事業所がないことで移動に関する課題を整理。 公共交通の利用しにくいことや運賃等も値上がりしており家計の負担も増えているなどの課題があった。	(1) 一貫したつながる療育 ・わかりやすい相談窓口、情報発信の必要性 (2) 家庭支援及び学校教育の充実 ・連携による途切れない相談支援体制づくりなど (3) 子育て支援の充実 ・福祉サービス利用による安心した子育て支援や経済的負担の軽減 (4) 医療的ケア児への支援 ・支援体制の連携強化	(1) こどもの成長と共に変化する環境や福祉サービスについて検討した15項目について、1項目でも多く具体的な課題解決に結びつけられるようさらに内容を精査する。 (2) 福祉サービスの地域間格差等で出された課題を整理し、課題解決方法について検討する。
権利擁護部会	(1) 地域包括支援センターの社会福祉士部会との合同部会を開催し意見交換を行う予定 (2) 相談員連絡会議内の成年後見制度について意見交換を実施 ・成年後見人制度の利用希望者は増加傾向であり、対象者に丁寧に対応できるような体制が必要であることを確認。	(1) 成年後見制度利用希望者の増加に伴い、地域のニーズに対応した利成年後見制度利用支援の充実が必要 (2) 成年後見制度活用のための普及啓発 (3) 虐待防止対策の取組み	(1) 成年後見制度のための体制づくり (2) 成年後見制度の地域ニーズの把握
移動支援部会	地域課題として、土日の余暇における、交通手段の限定や通院、通学、通所の不便さがあげられており、状況の把握と対応策等について協議を実施。 (1)移動支援による外出支援・社会参加について ・支援者にて支給決定に関するQAの共有 ・グループ型支援について、他の市町村状況を調査し、まとめと内容の検討を実施 ・地域内での共助での支援の可能性について検討。 (2)交通手段の移動の検討 ・市地域公共交通網形成計画のヒアリング・説明後、課題など情報収集・検討の実施 ・市公共交通担当部署との情報共有と意見交換の実施	(1) 移動支援事業による外出支援・社会参加の充実 (2) 公共交通の縮小等に伴う移動手段の確保	(1) 移動支援による外出支援・社会参加について ・福祉事業所の活動の一環で、買い物・余暇活動支援の試行を情報共有し、他の活動にも広げるように共助への発信を実施する。 ・地域の互助活動の情報収集と情報提供を行い、障害者支援にも広がるような働きかけを行う。 ・余暇支援まで広げてニーズを把握する。 (2) 交通手段の移動の検討 ・市公共交通担当課との情報共有を定期的を実施 ・お出かけパス、タクシー券の拡充を検討
情報発信部会	(1) 市内小学校でこころのバリアフリー教室を開催 (聴覚障害について1校、視覚障害について2校) (2) 障害者週間に合わせた障害者アート展開催。 (3) ガイドマップ更新。	(1) バリアフリー教室の実施校の固定化 (2) 障害に関する更なる理解促進	(1) 引き続き継続(新規学校開拓のための検討) (2) 障害者アート展の継続(障害者週間での啓発) (3) 広報いといがわ、行政モニター等で理解促進・啓発の実施

第7期糸魚川市ささえあいプランの評価（福祉サービス取組状況）

I 訪問系サービス

種 類	単位	R7見込量	R7実績	令和7年度の状況
居宅介護	時間	580	596	概ね見込み通りの実績
	人	61	57	
重度訪問介護	時間	100	262	見込み量を上回る実績
	人	1	2	
同行援護	時間	59	74	見込み量を上回る実績
	人	10	7	
行動援護	時間	10	0	実績なし
	人	1	0	
重度障害者等 包括支援	時間	0	0	実績なし
	人	0	0	

II 日中活動系サービス

種 類	単位	R7見込量	R7実績	令和7年度の状況
生活介護	人日	2,159	1,974	見込量を下回る実績
	人	127	115	
自立訓練 （機能訓練）	人日	10	0	実績なし
	人	2	0	
自立訓練 （生活訓練・日中）	人日	190	126	見込量を下回る実績
	人	12	10	
自立訓練 （生活訓練・夜間）	人日	80	92	見込量を上回る実績
	人	3	5	
就労移行支援	人日	250	103	見込量を下回る実績
	人	25	10	
就労継続支援 （A型）	人日	450	449	概ね見込み通りの実績
	人	25	24	
就労継続支援 （B型）	人日	1,300	1,432	見込量を上回る実績
	人	100	112	
就労定着支援	人	10	7	見込量を下回る実績
療養介護	人	24	22	概ね見込み通りの実績
短期入所 （福祉型）	人日	150	188	見込み量を上回る実績
	人	60	43	
短期入所 （医療型）	人日	30	17	見込量を下回る実績
	人	6	5	

Ⅲ 居住系サービス

種 類	単位	R7見込量	R7実績	令和7年度の状況
共同生活援助	人	52	52	概ね見込み通りの実績
施設入所支援	人	65	66	概ね見込み通りの実績
自立生活援助	人	1	0	実績なし

Ⅳ 相談支援

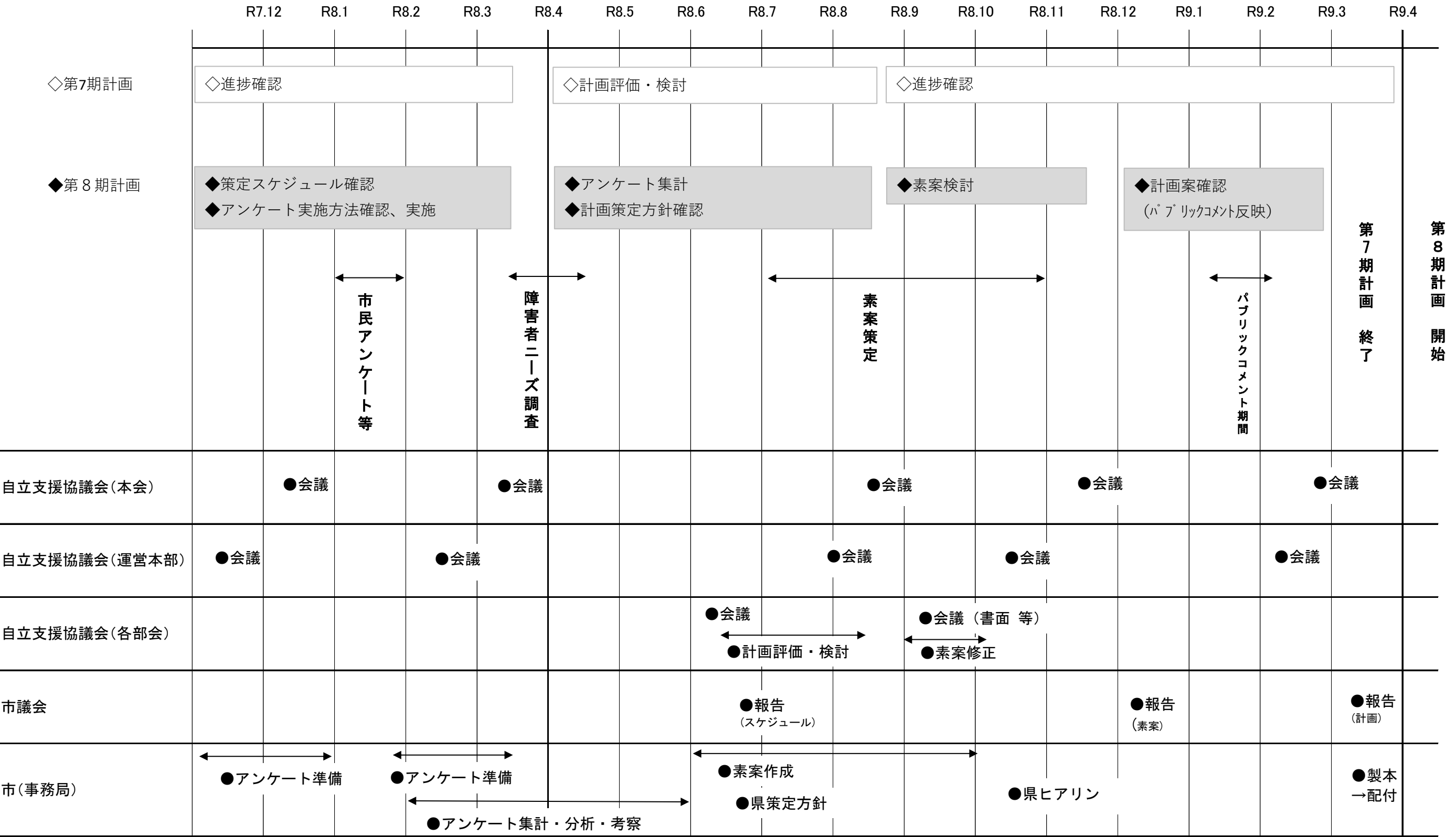
種 類	単位	R7見込量	R7実績	令和7年度の状況
計画相談支援	人	85	95	見込み量を上回る実績
地域相談支援 (地域移行支援)	人	1	2	概ね見込み通りの実績
地域相談支援 (地域定着支援)	人	1	1	概ね見込み通りの実績

Ⅴ 障害児支援(児童福祉法)

種 類	単位	R7見込量	R7実績	令和7年度の状況
児童発達支援 児童発達支援センター	人日	105	125	見込み量を上回る実績
	人	70	58	
	箇所	0	0	
放課後等 デイサービス	人日	280	613	見込み量を上回る実績
	人	41	58	
居宅訪問型 児童発達支援	人日	8	0	実績なし
	人	1	0	
保育所等訪問支援	人日	0	0	実績なし
	人	0	0	
障害児相談支援	人	25	23	見込み量を下回る実績
障害児入所施設※ (福祉型)	人			
障害児入所施設※ (医療型)	人			

※ 障害児入所施設については、指定都市のみ入力する。

第8期糸魚川市ささえあいプラン策定スケジュール(予定)



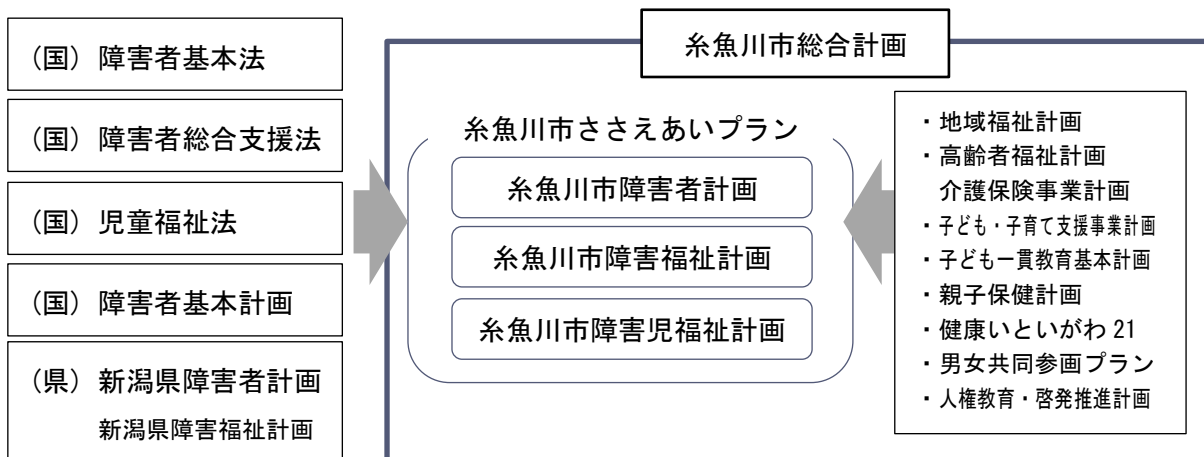
計画の位置づけ（案）

本計画は、障害者基本法第 11 条第 3 項に基づく「糸魚川市障害者計画」と、障害者総合支援法第 88 条に基づく「糸魚川市障害福祉計画」、また児童福祉法の改正に伴い、児童福祉法第 33 条の 20 第 1 項に規定された、「障害児福祉計画」を一体的に策定し、親しみやすい計画とするため「糸魚川市ささえあいプラン」として策定しています。

「糸魚川市障害者計画」の部分においては障害者施策の基本的な指針を示した計画、「糸魚川市障害福祉計画」の部分においては「糸魚川市障害者計画」の障害福祉サービス及び地域生活支援事業の見込み量を定めた実施計画、また、「障害児福祉計画」では障害児へのサービスの提供体制の確保を計画するものとして、糸魚川市の障害者施策の総合的な推進を目指します。

なお、本計画は、国の障害者基本計画及び本市の上位計画である「糸魚川市総合計画」や「糸魚川市地域福祉計画」などの関連計画との整合性を確保して策定します。

□糸魚川市ささえあいプランと関連計画等



計画の期間（案）

本計画における期間は、本市の場合、障害者計画と障害福祉計画、障害児福祉計画を同時に策定していることから、令和 9 年度から 11 年度の 3 年間とします。

	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14
糸魚川市 ささえあいプラン									
	第 7 期計画		第 8 期計画			第 9 期計画			

◎国の基本指針は、3年ごとに改定が行われます。

◎計画ごとに、異なる計画期間を設定する自治体もあります。

（例）障害者計画（6年間）、障害福祉計画・障害児福祉計画（3年間）

○計画体系（案）

第1章 計画策定に当たって

- 第1節 計画策定の趣旨
- 第2節 計画の位置づけ
- 第3節 計画の期間

第2章 障害者の現状

第1節 糸魚川市における障害者の状況

- 1 糸魚川市の障害者の概況
- 2 身体障害者の状況
- 3 知的障害者の状況
- 4 精神障害者の状況
- 5 難病患者等の状況
- 6 児童の状況
- 7 障害支援区分認定の状況

最新データに更新

第2節 計画策定に当たってのニーズ聞き取り

- 1 障害者団体、ボランティア団体へのグループインタビュー
- 2 市民アンケート調査

結果を第8期計画に
反映
※アンケート実施済

第3章 糸魚川市障害者計画

第1節 第7期計画の成果

第2節 第8期計画の基本方針と体系

第3節 第7期の成果や課題を踏まえた見直し

第4節 施策別計画

- 1 （施策1） ー現状と課題・施策の方向ー
 - 2 （施策2） ー現状と課題・施策の方向ー
- （略）

第7期計画の評価
⇒第8期計画に反映

第4章 糸魚川市障害福祉計画

第1節 福祉サービス等の内容

- 1 福祉サービス等について
- 2 福祉サービス等の提供に当たっての現状と課題
- 3 福祉サービス等の体系及び内容

第2節 国の基本指針に基づく成果目標

- 1 第7期計画の目標値と実績の評価
 - 2 第8期計画の成果目標
 - (1) （国の基本方針に基づく成果目標1）
 - (2) （国の基本方針に基づく成果目標2）
- （略）

第7期計画の評価
⇒第8期計画に反映

第3節 障害福祉サービスの実績と今後の見込み量

- 1 訪問系サービス
- 2 日中活動系サービス
- 3 居住系サービス
- 4 相談支援

第4節 地域生活支援事業の実績と今後の見込み量

- 1 理解促進研修・啓発事業
- 2 自発的活動支援事業
- 3 相談支援事業
- 4 成年後見制度利用支援事業・成年後見制度法人後見支援事業
- 5 意思疎通支援事業
- 6 日常生活用具給付等事業
- 7 手話奉仕員養成研修事業
- 8 移動支援事業
- 9 地域活動支援センター
- 10 任意事業

第5章 糸魚川市障害児福祉計画

第1節 障害児サービスの内容

- 1 障害児サービス等について
- 2 福祉サービス等の提供に当たっての現状と課題
- 3 障害児サービス等の体系及び内容

第7期計画の評価
⇒第8期計画に反映

第2節 国の基本指針に基づく成果目標

- 1 第3期計画の目標値と実績の評価
(1) 障害児支援の提供体制の整備等

第3節 障害児福祉サービスの実績と今後の見込み量

第6章 計画の推進に向けて

第7章 参考資料

障害福祉ニーズ調査 アンケート集計結果

【基本情報】

- ・ お答えいただくのは、どなたですか？

区分	本人	本人の家族	家族以外の 介助者	未回答	計
件数	161	103	5	22	291
割合	55.3%	35.4%	1.7%	7.6%	

- ・ あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

満年齢

区分	～18	18～29	30～44	45～59	60～69	70～79	80～
件数	29	24	54	74	46	43	21
割合	10%	8%	0%	25%	16%	15%	7%

性別

区分	男性	女性	未回答	計
件数	161	127	3	288
割合	56%	44%		

居住地域

区分	糸魚川地域	青海地域	能生地域	計
件数	188	49	53	290
割合	65%	17%	18%	

- ・ 日常生活で支援が必要な項目について

項目	全部必要	一部必要 (時々)	必要と答えた 人の割合
食事介助	11	40	18%
排泄介助	21	28	17%
入浴介助	29	52	28%
更衣介助	18	44	21%
整容介助	21	72	32%
室内移動	18	12	10%
外出介助	45	67	38%
対人支援	34	86	41%
金銭管理	89	57	50%
服薬管理	72	45	40%

障害の状況について

・ 主な支援者について

支援者	父母・祖父母・兄弟姉妹	ホームヘルパーや施設の職員	配偶者	子ども	その他の人 (ボランティア等)
回答数	130	72	19	14	14
割合	52%	29%	8%	6%	6%

① 支援者の年齢

区分	～18	18～29	30～44	45～59	60～69	70～79	80～
回答数	0	1	15	46	35	33	19
割合	0%	1%	10%	31%	23%	22%	13%

② 支援者の性別

性別	男性	女性
回答数	30	121
割合	20%	80%

③ 支援者の健康状態

健康状態	よくない	ふつう	よい
回答数	13	96	41
割合	9%	64%	27%

・ 身障手帳の所持状況 × 障害の種類 クロス集計

	件数	視覚障害	聴覚障害	音声・言語・そ しゃく機能障害	肢体不自由 (上肢)	肢体不自由 (下肢)	肢体不自由 (体幹)	内部障害 (上記以外)
持っていない	139							
1級	35	7	1	1	3	4	8	12
2級	40	5	4	0	7	8	6	6
3級	29	1	0	1	3	5	2	8
4級	20	0	1	1	1	7	1	4
5級	2	0	0	0	0	1	1	0
6級	6	1	2	1	1	1	1	1
持っている	132							
空欄	20	0	0	0	0	0	0	0
合計	291	14	8	4	15	26	19	31

・療育手帳の所持状況

	件数	割合
療育 A	60	20.62%
療育 B	57	19.6%
持っている	117	40.2%
知的障害がある が手帳を持って いない	1	0.3%
持っていない	146	50.2%
空欄	27	9.3%
合計	291	100.0%

・精神手帳の所持状況

	件数	割合
1 級	7	2.4%
2 級	57	19.6%
3 級	4	1.4%
持っている	68	23.4%
精神障害がある が手帳を持って いない	6	2.1%
持っていない	188	64.6%
空欄	29	10.0%
合計	291	100.0%

・【18歳未満】重症心身障害

	件数	割合
該当する	3	10.0%
該当しない	24	83.0%
空欄	2	7.0%
合計	29	100.0%

・発達障害診断

	件数	割合
ある	68	23.0%
ない	58	20.0%
空欄	165	57.0%
合計	291	100.0%

・医療的ケア

	件数	割合
受けている	82	28.2%
受けていない	200	
空欄	9	
合計	291	100.00%

・医療的ケア内容

※ 複数回答可

医療的ケア内容	件数	割合
服薬管理	40	48.8%
その他	29	35.4%
胃ろう・腸ろう	5	6.1%
吸入	5	6.1%
透析	3	3.7%
ストマ（人工肛門・人工膀胱）	3	3.7%
気管切開	2	2.4%
人工呼吸器（レスピレーター）	1	1.2%
鼻腔経管栄養	1	1.2%
吸引	1	1.2%
中心静脈栄養（IVH）	1	1.2%
カテーテル留置	1	1.2%
	92	

⇒

その他記述

- ・ペースメーカー
- ・ICD
- ・在宅酸素
- ・精神科に通院している。
- ・浣腸
- ・けいれん時の座薬

住まいや暮らしについて

- ・ 現在の暮らし/希望する暮らし クロス集計

希望する 暮らし 現在の 暮らし	総計	その他	ひとりで暮 らしたい	配偶者または パートナー (や子ども) と暮らしたい	父母、祖父 母、兄弟姉 妹などの家 族と暮らし たい	福祉施設や グループ ホームの利 用者と暮ら したい	(空白)
その他	9	4	3	2			
ひとり暮らし	45	2	39	1		3	
配偶者やパート ナー・子と一緒に	60	2		54	1	3	
父母、祖父母、兄 弟姉妹などの家族	148	2	3	2	132	5	4
福祉施設やグルー プホームの利用者	27	1	2	1	1	19	3
(空白)	2						2
総計	291	11	47	60	134	30	9

施設以外 ⇒ 施設希望 11名

施設 ⇒ 在宅希望 5名

その他記述(現在の暮らし)

- ・ 療養型病院
- ・ 自宅に年間三分の一、グループホームに三分の二の割合で暮らしている。

その他記述(希望する暮らし)

- ・ 本人がどう思っているか確認できません
- ・ 親が元気である間たまには実家ですごしたい
- ・ むずかしいです。3年以内親の健康状態に応じて福祉施設も考えられる。
- ・ 現在の身体的なことを考えると、これ以上の良くなる見込みは無いので、今のままが良いかと思います。
- ・ 彼氏と一緒に住む予定
- ・ 東京の実家に帰るか悩み中
- ・ 考えたくもない

・現在の住まい/希望する住まい クロス集計

現在の 住まい	希望する 住まい	総計	一般の 住宅	グループ ホーム	福祉施設 (高齢者支援)	福祉施設 (障害者支援)	その他	(空白)
一般の住宅		251	228	5	4	5	4	5
グループホーム		20	4	14		1		1
福祉施設（高齢者）		4			4			
福祉施設（障害者）		2				2		
その他		9	1				6	2
入院中		2				1	1	
(空白)		3						3
総計		291	233	19	8	9	11	11

住宅 ⇒ 施設希望 14名
 グループホーム ⇒ 在宅希望 4名
 福祉施設 6名 ⇒ 在宅希望 0名
 福祉施設以外 ⇒ 福祉施設希望 11名

その他記述（現在の居住先）

県営住宅 3
 市営住宅 4
 アパート 1

その他記述（希望する居住先）

県営住宅 1
 市営住宅 1
 アパート 1

本人がどう思っているか確認できない

・希望する暮らしのために必要な支援

※ 複数回答可

	回答数	割合
その他	18	6.2%
経済的な負担の軽減	157	54.0%
相談対応等の充実	110	37.8%
必要な在宅サービスが適切に 利用できること	104	35.7%
障害者に適した住居の確保	75	25.8%
地域住民等の理解	70	24.1%
在宅で医療的なケアなどが得 られること	68	23.4%
情報の取得利用や意思疎通に ついての支援	64	22.0%
生活訓練等の充実	58	19.9%
(空白)	28	
計	752	

その他記述（希望する支援）

- ・ 食事の提供
- ・ 代読・代筆サービス
- ・ 介助者（父母）と一緒に入れる施設があれば良い
- ・ 公共交通機関の充実、障がい者雇用の多様化と促進
- ・ 現在の身体的なことを考えると、これ以上の良くなる見込みは無いので、今のままが良い
- ・ 母である私はあまり歩けない病気になって生活がたいへんになっています。
- ・ 就労支援、就労先の選択肢
- ・ 支援者家族同士の情報交換の機会、行方不明対策（認知症高齢者向けの伝言板のような仕組み）
- ・ 時には同じ状況の人と小旅行をさせてあげたい
- ・ パソコンとスマホを持ちたい。通信料が無い。
- ・ とくに必要なし
- ・ 他社とは接したくない。

日中活動や就労について

・ 外出頻度

	件数	割合
毎日外出する	129	44.3%
1週間に数回外出する	109	37.5%
めったに外出しない	41	14.1%
まったく外出しない	9	3.1%
空欄	3	1.0%
合計	291	

・ 外出同伴者

	件数	割合
ひとりで外出する	107	36.8%
父母・祖父母・兄弟姉妹	94	32.3%
配偶者（夫または妻）	28	9.6%
ホームヘルパーや施設の職員	21	7.2%
子ども	12	4.1%
その他の人（ボランティア等）	3	1.0%
空欄	26	8.9%
合計	291	

・ 外出目的

※ 複数回答可

	件数	割合
医療機関への受診	160	55.0%
買い物に行く	179	61.5%
通勤・通学・通所	143	49.1%
散歩に行く	73	25.1%
趣味やスポーツをする	37	12.7%
グループ活動に参加する	25	8.6%
友人・知人に会う	31	10.7%
訓練やリハビリに行く	23	7.9%
その他	26	8.9%
未回答	18	6.2%
	715	

外出頻度 × 同伴者 クロス集計	総 計	す 毎 る 日 外 出	す 数 1 る 回 週 外 間 出 に	外 め 出 っ し た な に い	外 ま 出 っ し た な く い	
ひとりで外出する	107	56	38	13		
父母・祖父母・兄弟姉妹	94	51	30	13		
配偶者（夫または妻）	28	7	17	4		
ホームヘルパーや施設の職員	21	6	11	4		
子ども	12		5	7		
その他の人（ボランティア等）	3	3				
(空白)	26	6	8		9	3
総計	291	129	109	41	9	

- ・ 外出時に困ること ※複数回答可

項目	件数	割合
公共交通機関が少ない（ない）	95	32.6%
困った時にどうすればいいのか心配	85	29.2%
外出にお金がかかる	53	18.2%
列車やバスの乗り降りが困難	39	13.4%
道路や駅に階段や段差が多い	43	14.8%
切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	41	14.1%
外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	33	11.3%
発作など突然の身体の変化が心配	33	11.3%
周囲の目が気になる	36	12.4%
介助者の確保ができない	22	7.6%
その他	26	8.9%
	506	

【その他の記載】

- ・ 母である私が赴くのがむりでタクシーで毎週行きますので、食事がたいへん。 よく迷子になる
- ・ 親が同伴でないと、慣れない地域に出かける事が難しい
- ・ 病院などで障害者の駐車場の空きがない
- ・ 雨がふったとき自転車のれない。
- ・ 車内放送など、聞こえないことがほとんどなので困る。
- ・ 青海駅が高齢者用になっていない
- ・ 外出先で固まって動かなくなる（数秒～数10分）
- ・ 買物などスーパーが近くにない。
- ・ バスの乗り降りする時、ステップが高いと困難。
- ・ 下肢不自由なので交通機関利用できず、家族の車で外出。それができなくなれば、外出にお金がかかると思う。
- ・ 道路や歩道に白線や点字ブロック等の目印が少ないため、歩きにくい
- ・ 普段は母親が通所施設へ送迎しているが、母親は高齢で自家用車を手放した際の交通手段や介助の確保
- ・ 今現在は必ず介助者がいる

・ 平日の日中の主な過ごし方

	件数	割合
福祉施設、作業所等に通っている (就労継続支援A型も含む)	96	33.4%
自宅で過ごしている	90	31.4%
会社や自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	42	14.6%
一般の高校、小中学校に通っている	13	4.5%
特別支援学校（小中高等部）に通っている	12	4.2%
その他	12	4.2%
専業主婦（主夫）をしている	10	3.5%
入所している施設や病院等で過ごしている	7	2.4%
ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	2	0.7%
病院などのデイケアに通っている	1	0.3%
リハビリテーションを受けている	1	0.3%
大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	1	0.3%
空欄	4	
計	287	100%

【その他の記載】

- ・ 農業畑で花とか野菜など作ってる
- ・ 御経を上げたり、御給仕など佛事をさせていただいている。
- ・ 親の手伝をしている。長くすわったり立っていられず泣いた。
- ・ 日によってちがう
- ・ 勤めと自宅と半々、勤務形態はパート、もう少し時間が増えてもよい

・ 「収入を得る仕事をしている」人の勤務形態

	件数
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	18
正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	8
正職員で短時間勤務など障害者配慮がある	7
自営業、農林水産業など	7
その他(障害者雇用のアルバイト・パート)	1
空欄	1
計	42

・ 就労希望 及び職業訓練希望 ※18歳以上のみ回答

職業訓練希望	件数	割合
職業訓練を受けたい	31	35.6%
既に職業訓練を受けている	24	27.6%
職業訓練を受けたくない	23	26.4%
受ける必要はない		
未選択	9	10.3%
仕事をしたい	87	29.9%
仕事はしたくない、できない	82	28.2%
勤務している	42	14.6%
未回答	80	41.9%
計	291	100.0%

・ 障害者の就労支援として、どのようなことが必要か ※複数回答可

必要な就労支援	件数	割合
職場の上司や同僚に障害の理解があること	136	46.7%
通勤手段の確保	119	40.9%
勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	100	34.4%
短時間勤務や勤務日数の配慮	91	31.3%
具合が悪くなった時に気軽に通院できること	89	30.6%
仕事についての職場外での相談対応、支援	78	26.8%
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	77	26.5%
職場で介助や援助等が受けられること	68	23.4%
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	49	16.8%
在宅勤務の拡充	51	17.5%
企業ニーズに合った就労訓練	44	15.1%
その他	16	5.5%
回答数	918	

【その他の記載】

- ・ 職場上司が理解していても一緒に働く人が無理解だとうまくいかない。
そういう人を見ていて（ケースを見る）本人がやめる
- ・ 全て必要に思えて選択できない
- ・ 特に考えたことがない。
- ・ 一般企業の就職はできない
- ・ 在宅ワークや時短勤務が自由にできる事

相談相手について

- ・ 普段、悩みや困ったことを相談する相手 ※複数回答可

	件数	割合
家族や親せき	204	73.4%
友人・知人	67	24.1%
施設の指導員など	89	32.0%
かかりつけの医師や看護師	74	26.6%
相談支援事業所などの民間の相談窓口	44	15.8%
職場の上司や同僚	27	9.7%
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	32	11.5%
病院のケースワーカーや 介護保険のケアマネージャー	24	8.6%
行政機関の相談窓口	27	9.7%
保育所や幼稚園、学校の先生など	21	7.6%
近所の人	16	5.8%
その他	17	6.1%
民生委員・児童委員	8	2.9%
障害者団体や家族会	7	2.5%
計	657	
未回答	13	

⇒

【その他の記載】

- ・ 意思疎通自体が困難
- ・ 宗教の仲間
- ・ 保佐人
- ・ 支援員
- ・ 色々
- ・ 相談しない
- ・ 彼氏
- ・ 相談してない
- ・ いない
- ・ AI

- ・ 障害のことや福祉サービスなどに関する情報の入手先

	件数	割合
家族や親せき、友人・知人	94	34.6%
行政機関の広報誌	89	32.7%
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオ	75	27.6%
サービス事業所の人や施設職員	92	33.8%
かかりつけの医師や看護師	43	15.8%
インターネット	53	19.5%
相談支援事業所などの民間の相談窓口	42	15.4%
病院のケースワーカーや 介護保険のケアマネージャー	29	10.7%
行政機関の相談窓口	30	11.0%
保育所や幼稚園、学校の先生など	22	8.1%
その他	11	4.0%
民生委員・児童委員	7	2.6%
障害団体の家族会（団体の機関紙など）	9	3.3%
計	596	
未回答	19	272

⇒

【その他の記載】

- ・ どこで知ることが出来るのかわからない
- ・ 本人にその能力がない

障害福祉サービス等の利用について

- ・ 障害支援区分の認定及び福祉サービスの利用状況

	件数	割合	利用している	割合	利用希望あり	割合
受けていない	147	50.5%	44	15.1%	64	22.0%
区分 1	18	6.2%	14	4.8%	9	3.1%
区分 2	27	9.3%	22	7.6%	20	6.9%
区分 3	14	4.8%	14	4.8%	10	3.4%
区分 4	7	2.4%	4	1.4%	4	1.4%
区分 5	4	1.4%	4	1.4%	3	1.0%
区分 6	5	1.7%	5	1.7%	4	1.4%
区分 計	75	25.8%	63	46.3%	50	38.2%
(空白)	69	23.7%	29	10.0%	17	5.8%
総計	291	100.0%	136	46.7%	131	45.0%

- ・ 福祉サービスの種類別利用状況 × 障害支援区分別のクロス集計

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	空 欄	い な い 受 け て	合 計	利 用 3 年 後 の 希 望	増 減
居宅介護（ホームヘルプ）	8	10	1	0	2	2	3	3	29	28	-1
重度訪問介護	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	4
同行援護	4	0	1	0	0	0	3	2	10	9	-1
行動援護	1	0	0	0	0	0	1	0	2	10	8
重度障害者等包括支援	1	0	0	0	0	2	0	0	3	4	1
施設入所支援	1	1	1	0	0	0	5	2	10	13	3
短期入所（ショートステイ）	1	1	5	3	2	2	6	3	23	31	8
療養介護	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1
生活介護	2	3	3	2	2	2	7	0	21	25	4
自立生活援助	1	5	0	0	0	0	2	1	9	12	3
共同生活援助（グループホーム）	2	4	6	0	1	1	7	1	22	18	-4
自立訓練（機能訓練、生活訓練）	3	1	2	0	0	0	2	4	12	16	4
就労移行支援	1	0	1	0	0	0	4	1	7	11	4
就労継続支援（A型、B型）	5	7	8	1	2	0	8	27	58	42	-16
就労定着支援	1	0	0	0	0	0	1	2	4	7	3
計画相談支援	6	10	6	2	1	2	3	12	42	30	-12
地域移行支援	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
地域定着支援	1	0	0	0	0	0	0	1	2	6	4
合計	42	42	34	8	10	11	52	59	258	272	14

- ・ サービスを利用していない、希望しない主な理由 ※複数回答可

	利用しない 理由	希望しない 理由
サービスを受ける必要がないため	64	53
サービスの対象者に含まれないため ※年齢制限・障害支援区分が合致しない等	23	24
サービスがあることを知らなかったため	12	12
利用料金がかかるため	6	5
サービス利用時間の都合が合わないため	2	5
既に別のサービスの提供を受けているため	1	2
地域にサービス提供場所がないため	1	0
その他	8	9
計	117	110

- ・ サービスの利用がない「その他」の記述
 - ・ サービスの利用に不安がある
 - ・ 医師による障害の検査に不審な点があり諦めている。
 - ・ デイサービス利用している
 - ・ 本人が拒否
 - ・ 今までではバイトをしたりできていたから
- ・ サービスの利用希望がない「その他」の記述
 - ・ 将来的には利用希望だが3年以内はない
 - ・ いまのところ家族での世話が可能。3年後の事は不明
 - ・ 今の年齢でどんなサービスが受けられるのか、受けたらいいのかがわからない
 - ・ 3年も生きてないと言われた

・ 障害児向けサービス

	現在	3年後の 利用希望		増減
利用している	26	あり	20	-6
利用していない	2	なし	7	5

・ 現在利用しているサービス ※ 複数回答可

	現在	3年後の 利用希望	増減
児童発達支援	5	6	1
放課後等デイサービス	25	19	-6
障害児相談支援	7	7	0
医療型児童発達支援	0	1	1
居宅訪問型児童発達支援	0	0	
保育所等訪問支援	0	0	
福祉型児童入所施設	0	0	
医療型児童入所施設	0	0	

・ サービスを利用していない、希望しない主な理由 ※複数回答可

	利用しない 理由	希望しない 理由
サービスを受ける必要がないため	1	1
サービスの対象者に含まれないため ※年齢制限・障害支援区分が合致しない等	0	1
サービスがあることを知らなかったため	0	0
利用料金がかかるため	0	0
サービス利用時間の都合が合わないため	1	0
既に別のサービスの提供を受けているため	0	1
地域にサービス提供場所がないため	0	0
その他	1	2
計	3	5

・ サービスの利用がない「その他」の記述

- ・ まだサービスの利用方法がわからない

・ サービスの利用希望がない「その他」の記述

- ・ 今の生活でいっぱいなので考えられない
- ・ 周りからの偏見

権利擁護について

- ・ 障害があることで差別や嫌な思いをしたことがあるか

	ある	少しある	計	ない	空欄	合計
件数	53	95	148	117	26	291
割合	18.2%	32.6%	50.9%	40.2%	8.9%	100.0%

- ・ 差別や嫌な思いをした場所 ※複数回答可

	ある	少しある	計	割合
学校・仕事場	25	26	51	34.5%
仕事を探すとき	16	11	27	18.2%
外出中	20	30	50	33.8%
余暇を楽しむとき	9	11	20	13.5%
病院など医療機関	19	11	30	20.3%
住んでいる地域	15	17	32	21.6%
その他	6	11	17	11.5%
合計	110	117	227	153.4%

- ・ 成年後見制度について

	件数	割合
名前も内容も知らない	103	35.4%
名前を聞いた ことがある	91	31.3%
名前も内容も知っている	79	27.1%
未回答	18	6.2%
合計	291	

災害時の備えについて

- ・ 災害時に一人で避難できるか

	件数	割合
できる	130	44.7%
できない	141	48.5%
空欄	20	6.9%
合計	291	100.0%

- ・ 家族以外にあなたを助けてくれる人はいますか

	件数	割合
いる	75	25.8%
いない	113	38.8%
わからない	83	28.5%
空欄	20	6.9%
合計	291	

⇒

- ・ その人はどこに住んでいますか？

	件数	割合
近所（同地区）	58	49.2%
市内	45	38.1%
市外	15	12.7%
合計	118	100.0%

- ・ 災害時に備えての避難計画

	避難する場所		避難方法や手順		避難に必要なもの	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
決めてある	103	49.3%	94	45.0%	64	30.6%
決めていない	71	34.0%	87	41.6%	94	45.0%
空欄	35	16.7%	28	13.4%	51	24.4%
合計	209	100.0%	209	100.0%	209	100.0%

- ・ 災害時に困ることは何ですか？

※ 複数回答可

項目	件数	割合
投薬や治療が受けられない	129	44.3%
補装具の使用が困難になる	22	7.6%
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	27	9.3%
安全なところまで、迅速に避難することができない	124	42.6%
救助を求めることができない	77	26.5%
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	86	29.6%
周囲とコミュニケーションがとれない	93	32.0%
避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	162	55.7%
その他	13	4.5%
特になし	30	10.3%
計	763	262.2%

・ その他記述

- ・ わかりません、すべてかも、大きい災害にあってない
- ・ 避難所の生活は無理なので（摘便等があるため）ホテルなどの幹施してほしい
- ・ 一人では臨機応変に対応が出来ない
- ・ トイレトレーニングはしているが、オムツなので排泄が不安。偏食
- ・ 薬の確保
- ・ 部屋(個室)の確保が必要だと思います（相談できる人も確保してほしい）
- ・ 医療ケアがあり、電源確保が心配。
- ・ 他者の支援なしで意思決定が出来ない（と思われる）

・ 自由意見 交通関連抜粋

①障害福祉サービスが多々あることを知りました。
情報不足と知ろうとすることがなかったと思います。

②県市への申請手続きなどで年数回お世話になっていますが、年々負担に感じてきています。
手続き方法の簡素化されることを願います

③運転（家族）できる間はいいいのですが、上越までの運転を不安に思っています。利用券をいただいているものの金銭的に負担が大きので今から不安でどうすれば良いか考えてしまいます。

④福祉交流プラザ（上越市元高田盲学校跡地）ようにリハビリや交流や相談できる場を望みます。
いつも窓口対応を親切に行ってください有難うございます。
（発症当時に県市と右往左往したのですが・・・。）

今年70歳なので、あと3、4年健康寿命といわれる歳まで3人とか母と2人この地で暮らしたい。
糸魚川総合病院受診のためのバスダイヤなので週末、祝日はバス利用を苦勞する。
糸魚川特産（果物・野菜・魚等）の青空市など開いてもらえればありがたい。自動車を持たないのでその点を考慮してもらえれば

障害者タクシー券補助をふやして下さい。

通院のバスに乗れず一人暮にてタクシーを利用 青海～病院へ往復7,000～8,000円
前にグリーンバスチケットを利用の時 往復で2,000円位、月に4～5回リハビリに利用 約1万円でしたが今はタクシーにてリハビリはやめました。
タクシー券も2回しか使えずグリーンバスケットのような会社があればすごく助かります。
どうにかありませんかね

・バス等移動手段の利便性の向上

・タクシー券の増設してほしい。費用高い、予約・迎車費用もかかる。
・オンデマンドタクシー市内で導入してほしい。

・役場、駅、保健所、総合病院、こまくさ等の主要で利用する場所が多いルートに行ける公共交通機関がない。少ないので増やして欲しい

・公衆トイレや施設のトイレが和式が多く、利用しづらい。（青海駅は、ペーパーがない。他の駅はトイレもない事が多い）観光地なのに、身障者用トイレしか洋式がない為、バスなどが来た時に、洋式トイレに行列ができしまい、本当に利用したい人が利用できない。

・市や人口の規模にしては、糸魚川の施設やサービスは充実している方だと思い、いつも助かっています。
市の施設等で、短時間勤務や在宅ワークなどの障がい者雇用の促進をお願いしたい。知的や精神の方の施設は、ある程度あると思うが、身体や難病、中途障がいの人が働ける場所がないように思える

・ 自由意見 サービス給付関連抜粋

概要

サービス給付手続きの分かりにくさ、子どもや医療的ケア児への支援拡充、意思疎通支援、医療面の受け入れ体制の充実、ひきこもり支援、家事援助や移動支援の負担軽減などの要望が挙がっています。

・ 主な意見（サービス給付関連）

1. サービス不足・受け皿不足

- ・ 市内または近隣で子どものショートステイを頼めるところがない
- ・ 選択できる放課後デイサービスが少ない
- ・ 高齢ひきこもりへの支援がない
- ・ 今後、親の高齢化により介護・介助が難しくなるため、福祉サービスへの依存が高まるのが不安

2. 手続き・制度の分かりにくさ

- ・ 物品の給付手続きの方法が自分から問い合わせないと分からない、不公平。
- ・ サービス費の加算の内容について、仕組みが分かりにくい

3. 子ども・障害児者への支援拡充

- ・ 物価高騰の中で、子どもに対する支援の拡充を求める
- ・ 給食費無償化などの地域差に疑問
- ・ 障害児を抱える家庭は、経済的・肉体的・精神的負担が大きく、一人親家庭以上に生活が大変
- ・ 特別児童扶養手当、障害児福祉手当、障害児通所支援、特別支援教育就学奨励費の所得制限撤廃を求める
- ・ 今後、子どもが大人になったときに不便だったと思わせないように、継続的な支援が必要

4. 意思疎通支援

- ・ 代読・代筆などの意思疎通支援の充実を求める

5. 医療受け入れ・成人移行支援

- ・ 重度心身障害者について、成人後に受け入れてくれる医療機関が少なく不安
- ・ こども期には小児科で診てもらえても、成人後に継続受診先が見つからず、地域で暮らし続けるための医療面の道筋が必要
- ・ 発熱や体調不良時、入院時などに市外受診が現実的でないため、地域内での受け入れ体制の整備
- ・ 医療ケアや重症心身障害児者を受け入れる事業所が増えたことへ感謝、今後も安心して過ごせる地域を求める

6. 生活支援・外出支援

- ・ 家事援助、買い物支援、掃除支援が助かっている
- ・ 薬の飲み忘れやゴミ出しが難しいなど、日常生活の細かな支援が必要
- ・ 外出時にタクシーを使うことが多く、タクシー代の値上がりが負担になっている
- ・ 降雪期の除雪や通路確保について、有料かどうかを含め事前に分かりやすく案内してほしい

- ・ 自由意見 行政関連抜粋

概要

制度の周知不足や申請手続きの負担、経済的支援の拡充、相談・交流の場の不足、更新管理の支援など、行政への要望が幅広く寄せられています。

- ・ 主な意見（行政関連）

- ・ 障害福祉サービスや制度の情報が十分に知られていない
- ・ 学校卒業時などに、サービス一覧の配布を望む
- ・ 申請書類の記載が細かく負担が大きい
- ・ 手続き方法の簡素化や更新時の事前通知を求める
- ・ 燃料券、就労継続支援の利用料無償化、賃金向上への要望
- ・ 子ども支援や医療的ケア児への支援拡充、所得制限の見直しを求める
- ・ 相談・交流の場の整備
- ・ 孤立や引きこもりへの不安があり、集える場・相談できる場の設置を望む
- ・ 当事者の声を聞く機会の不足
- ・ 親亡き後の生活、自立、成年後見制度への懸念
- ・ 生活継続のための支援や制度の活用相談を求める